

vol.  
002

2011 12 1発行



## 平成23年度 くにさき七島蘭振興会総会 開催

10月25日に梅園の里にて『くにさき七島蘭振興会総会』が開催されました。

今回は、三河国東市長、吉水市議会議長他、多数のご来賓に、ご出席いただき盛大に開催することができました。

議事終了後、会員の皆様から一言づつお話を伺う中で、それぞれの方が七島蘭に深い思いを感じていることが、ひしひしと感じられました。

今年度は、山積する課題を会員相互の協力で少しでも解決できるように、取り組んでいきたいと思います。



## 国東雇用創出曼荼羅スタート

12月より厚労省の地域雇用創出事業が始まります。この事業は簡単に言えば働く場所を増やしましょう。そのためには必要な知識を学びましょう、という事業です。

今、農産加工して、道の駅などに出荷しているのならば「もっと買って頂く為にはどうしたら良いのか」を勉強する。

「ちよつと空いた時間に働きたいがどうしたら良いか」そんな場合は、セミナーで技術を身につけて手仕事の製品を作る。もっと何かしたい、新しいことにチャレンジしてみたい。色々なことを勉強したい。そういうがんばり屋さんを応援する事業です。

いろんなセミナーがあり、途中からでも始められます。まずは、おもしろそうなセミナーに参加してみてください。新しい世界が開けるかもしれません。気の合うお友達も出来るかもしれません。仲間とともに小遣い出し合っで起業するのも楽しいものです。まず一歩をみながら踏み出せば、大きな一歩になります。国東全体の大きな一歩となるでしょう。それでは、セミナーの会場でお会いしましょう。

お問い合わせ

国東市雇用促進協議会

☎0978-17215183



# 会員アンケートを

## お願いしました



10月25日に行なわれた、くにさき七島蘭振興会総会にご参加いただいた会員の皆様にアンケートをお願いしました。

### 1年を振り返っての感想をお聞かせください

- ・振興会として1年目のスタート地点に立ち、これからの運営方針を定めたり加入者の特に作付者の体験談を聞く機会があった事は、上々の滑り出したと思います。数多くの問題点が共有できたことが、良かったと思います。
- ・発会以来、各方面より注目され、問い合わせ、取材などが増加しているが、皆様から期待されている品質が対応できていない。
- ・七島イ栽培のすべてが初めて知ることでも楽しかったです。定例会でいろんなことを聞けて、勉強になりました。

### 今後振興会にどのようなことを期待しますか？

- ・難しい七島イ栽培に対する互いの情報交換や普及の為にPR活動それに伴う新規参入者の確保等、難題があります。足並みを揃えて対処していく事が必要。
- ・定例会での肥料設計や病害虫対策や気象状況などの情報交換を元に品質の良い七島イを作っていきたい。
- ・七島蘭にかかわる人たちが、繋がっていくような会であって欲しい。
- ・異業種の人たちや新規参入の人たちにより、七島蘭の持つ特性を活かし、豊以外の商品化を見いだしていきたい。
- ・品質の向上やそのための機械整備や技術の継承・向上をしていきたい。
- ・七島蘭のPRや七島蘭栽培を新しくはじめる方へのサポートをして欲しい。
- ・振興会を中心にこの輪をどんどん広げていって欲しい。

会員の皆さんアンケートのご協力ありがとうございました。皆さんから頂いたご意見や、ご提案を今後の会の運営に生かし、より良い振興会に発展させていこうと思っております。

### シリーズ第1弾

## この人に聴く



生産者 古庄 毅男さん

シリーズ「この人に聴く」第1段は、国東安岐町糸永地区の生産農家の古庄毅男さんにお話を伺いました。

### Q、今期七島蘭を織るにあたっての思いは？

A、七島蘭というのは私のような年を取ったものにも合う作業であり、今年に限らず毎年楽しみな作業なんです。今年の原草はここ何年かの内で、一番良いのではないかと思う。その理由として、今回の肥料設計が上手くいったことが大きい。織りについては、今以上にお客様の気持ちになって、がんばっていききたい。

### Q、これからの不安材料や、集落営農について

A、やはり年齢のことが一番大きく、いつまでできるか分からない不安と力仕事で自分の歳を感じるのがつらい。近隣の七島農家の激減で、この地区で一人きりなので張り合いがない。集落営農については若い後継者たちに自分の学んできた事を教えて行きたい。何よりも私にとって七島蘭生産の生きがいは、色々な方の喜ぶ顔が見れて、良い畳表が出来上がった時の達成感を味わえる事につきます。

## 七島雑感

総会が終わり、ひと息つく暇もなく「パッケージ事業」の準備に追われている日々です。

この事業で一人でも多くの後継者が現れてくるのを首を長くして待っているところです。当会の若き会員である淵野夫妻が来年度から本格的に後継者としてスタートを切るうとしています。

彼らの為にも「貧乏草」を「長者草」と言われるように知恵を働かせて、価値のある商品として育てていきたいと思います。

## 会員募集のお知らせ

途絶えつつある七島蘭の保存とともに、新しい地域産業として再生させるといふ趣旨にご賛同いただける個人ならびに企業の会員の募集をしております。

会員の方には、七島蘭の植え付け、刈り取りの農業体験や、生産者との交流会も開きたいと思っております。途絶えようとしていた七島蘭ですが、大分県や国東市の支援により再生への道筋もようやく見えてきました。

どなたでも気軽に参加できる会にしたいと思っております。会員一同、一人でも多くの方のご参加をお待ちしております。